

玉村町都市計画マスタープラン(全体構想・地域別構想案)に対するパブリックコメントの実施結果

■意見の募集期間：平成23年12月7日（水）～平成24年1月4日（水）

■提出があった意見数： 1人 1件

番号	提出いただいた意見の概要	町の考え方
1	<p>玉村町の都市計画は平成3年3月15日に実施され、その原案は既存の集落、工場を市街化区域として駆込み実施したもので将来の玉村町のビジョンはありません。</p> <p>すでに都市計実施後20年が経過しておりますが、工場団地の一部見直し修正があったものの玉村町全体の見直しも無く今日に至っております。</p> <p>近年は中央幹線354号バイパスの一部完成と高崎玉村スマートインター周辺の整備が急がれておりますので今後の玉村町の発展の為には下記の事を実行願いたいと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 滝川通り線334の都市計画道路の全面廃止 2. 与六分前橋線の前橋南インターへの乗り入れに伴う新橋の建設と道路整備 3. 高崎玉村スマートインター周辺の総合開発と道路整備 	<p>例示されたご意見については下記の内容で本文に記載されておりますので今後は各種施策及び事業を推進し本町の発展に寄与していきたいと考えております。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【全体構想・交通・施策の方向2：拠点間と日常生活圏の連携強化】に下記の内容で記述あり。 長期間未整備な状況にある一部の都市計画道路については、今後の社会経済情勢の見通しや交通量の予測などを踏まえ、必要に応じて路線の見直しを行います。 2. 【全体構想・交通・施策の方向2：拠点間と日常生活圏の連携強化】に下記の内容で記述あり。 拠点間や日常生活圏を連携する主要地方道や都市計画道路、主要町道については、引き続き効率的な整備を図り、交通の円滑化や利便性の向上に努めます。 3. 【全体構想・土地利用・施策の方向1：各拠点等への都市機

<p>4. 旧滝川から新滝川までの住宅地域としての開発、整備</p> <p>5. 354号バイパス南側区域の住宅地域としての開発、整備 (原文ママ)</p>	<p>能集約】に下記の内容で記述あり。</p> <p>関越自動車道の高崎・玉村スマート IC (仮称) 周辺の新田地区、板井地区を産業構想拠点と位置づけ、骨格的な高速網を活かした流通業務系の市街地の形成を目指します。</p> <p>4. 【全体構想・土地利用・施策の方向6：適正な土地利用の誘導】に下記の内容で記述あり。</p> <p>上之手・下新田・上新田・福島地区の市街化区域並みに住宅が集積している地域は、国道354号(日光例幣使道)の北側の既成市街地と一体となった本町の中心市街地を担う地区として、都市計画道路や公園等の整備による居住環境の向上を推進し、地域住民との合意形成を図った上で市街化区域への編入を検討します。</p> <p>5. 【全体構想・土地利用・施策の方向6：適正な土地利用の誘導】に下記の内容で記述あり。</p> <p>(省略) 東毛広域幹線道路(国道354号バイパス)南側の下新田地区、文化センター南側の福島地区については、低層の戸建ての住宅地を基本とする土地利用誘導に向けて、面整備によるまちづくり手法を検討し、定住人口の増加を図るため、市街化区域への編入を検討します。</p>
--	--